

ローカルジャーナリズムを考えるシンポジウム

For Students

地方紙は面白い！

記者と学生で考える 取材、報道、未来

10月12日（土）午後1時～4時半（予約不要・無料）

早稲田大学国際会議場3階第1会議室

（東京都新宿区西早稲田1-20-14）

地元のニュースを一人一人に届ける地方紙。その地方を代表するメディアとして住民誰もが知り、頼る存在です。実のところ国内一般紙の部数の半分近くが地方紙です。

地方紙記者は誰をどう取材するのか？

地方紙の影響力とは？

地方紙記者の生活、何が喜び、何が苦労？

地方紙記者は何を守るのか？

地方紙はこれからどうなるのか？

参加新聞社

北海道新聞社

京都新聞社

神戸新聞社

河北新報社

信濃毎日新聞社

中国新聞社

次世代と議論したい！という地方紙の若手中堅記者が登場します。

ぜひ、あなたの疑問もぶつけてください。

プログラム① 各紙記者・取材現場からの報告

プログラム② 記者全員の激論トーク！私たちは何のために、そしてどうなる

プログラム③ 質疑応答

登壇・討論…北海道新聞▽河北新報（宮城県）▽信濃毎日新聞（長野県）▽京都新聞▽神戸新聞▽中国新聞（広島県）——の記者の皆さん

モデレーター…澤康臣（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

主催…早稲田大学グローバルエデュケーションセンター「ジャーナリズムとメディア表現」副専攻

問い合わせ…澤康臣 sawa_yasuomi(at)yahoo.co.jp